

# 共闘進化伝える唯一の新聞

日本共産党創立97周年記念講演会(8日)画共闘の力を開始し、志位和夫委員長が4年間にわたる取り組みと成果、今後の展望を明らかにした「市民と野党の共闘」。先の参院選で「改憲勢力3分の2議席割れ」、自民党の「参院での単独過半数割れ」という安倍・自公政権に痛打を及ぼせる決定的な役割を果たす力になりまし

## 野党共闘

この市民と野党の共闘の進化を伝える唯一の全国紙が「赤旗」です。参院選1人区で共産党から立候補し、党公認や無所属で野党統一候補となった候補者座談会(14日付)に続き、

# いま「赤旗」がおもしろい①

1人区で激戦を制して当選した野党統一の新参院議員がインタビューで次々登場しています。また「赤旗」には、



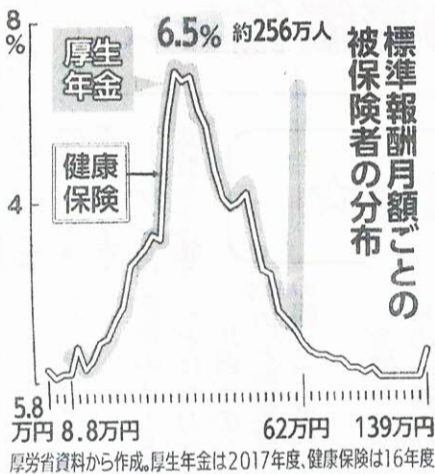
参院選で発揮された市民と野党の絆、共通政策の進化などを報じるシリーズ企画「共闘の力」の紙面

野党の『共通政策』は念講演で今後の共闘の課題としてあげた野党連合政権構想についてわかった。資料として「選挙の時だけ共闘するが、連立政権をつくる意思はない」ということでは、批判票は流れるが積極的選択にはならない。共産党を含む形で連立政権を組むという事で初めて代替する政権への選択肢が生まれる」と語っています。共闘の今後の展望も「赤旗」は指し示しています。

参院選後、野党共闘でもにたたかかった人たちが「赤旗」が共闘の力の源泉、だったとの話が次々寄せられています。

# 「減らない年金」つくるには

年金を減らし続けるか、安心の年金に変えるかが参院選の争点になりました。高所得者優遇の保険料のしくみを変えて1兆円規模の財源をつくり、「減らない年金」への転換を訴えた日本共産党の提案に、安倍晋三首相は「ばかげた提案」といってマクロ経済スラ



イドに固執しました。そこにあるのは財界・大企業を擁護する姿勢です。公的年金は、加入者(被保険者)が保険料を支払い、保険料に応じて年金を受け取る社会保険方式で運営されています。給付が増える保険料の増収を図るか、年金給付を下げて対応します。現役世代の減少に合

# 高所得者の低すぎる負担率正す



安倍首相はマスコミ幹部を取り込み蜜月関係を続けています。そんなく記事が増え良心的司会者や論者が冷遇されマスコミ

これがアベ政治!

白川ただし

の劣化が進んでいます。社会の深層理解の一助に是非「赤旗」をお読みください。スポーツ・芸能記事も載っています。

日本共産党

しんぶん赤旗 お申し込みは黒田みちまで

(090-9987-7909)



# 参院選結果どうみる



作家 室井佑月さん

院選の比例票と比べ自公は100万票以上も減らしています。まだ野党の方が足りないけれど、もっと共闘が進めば、押し返せるぐらいの差ですよ。だから私は、これからじゃないかと考えています。

今回の選挙では、共産党とれいわの連携など、新しいつながりも生まれました。そうしたところにも可能性を感じています。共産党には野党共闘の主軸として引き続き柔軟にがんばってほしい。

共産党の辰巳孝太郎さん(大阪選挙区)の落選は、私も応援していただけに残念でした。はやく国政に戻ってほしいです。

今回の参院選の野党共闘では、良かったことが多かったと思っっています。32の1人区で野党統一候補が10勝しました。安倍(晋三)首相がテコ入れしたところで自民候補が負け、野党統一候補の新人が自民重鎮に勝ったところもある。野党統一候補が勝てなかった1人区でも僅差の

ところが、これまでも状況が変わっています。その結果、改憲勢力が3分の2の議席をとることを阻止したのは大きかったですよ。

比例票をみても与党の自民・公明両党で2400万票、立民、共産、国民、れいわ、社民で1900万票です。しかも2017年衆